

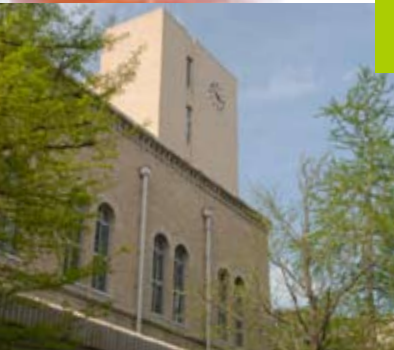
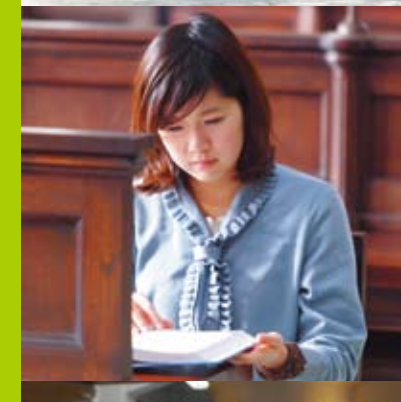


KOBE university STYLE

特集1 21世紀は、「農」の時代です

特集2 OXFORDがやって来た！

神戸大学 2013 Spring Vol.19



INDEX

特集①

21世紀は、「農」の時代です

- 03 内田一徳 農学研究科長インタビュー
 - 07 食農コープ教育プログラム「農家に弟子入りする」
 - 08 農学研究科・各講座特徴ある研究アンケート
-

特集②

10 OXFORDがやって来た!

- 14 CAMPUS LIFE～神戸大学の課外活動紹介～
 - 体育会航空部
 - 演劇研究会 はちの巣座
- 16 シンポジウム「神戸大学のミリヨク」を初開催
- 18 同窓会・校友会・育友会
 - 山中伸弥教授のノーベル生理学・医学賞受賞を祝って
 - 第7回ホームカミングデイを開催
 - 「ラオス神戸大学同窓会」が発足
 - 育友会の2012年度地区支部会が開かれました
- 20 保健管理センターだより
 - 楽しい学生生活のために…「食中毒」について知っておく!
- 22 歴史のひとこま
 - 「神戸大学百年記念館」
- 23 大学からのお知らせ



神戸大学六甲台キャンパス周辺は、桜の見どころが多い土地。また桜が終わると六甲の山が新緑に染まり、海・空・山が美しい季節を迎えます。



特集①

21世紀は、 「農」の時代です

内田 一徳 農学研究科長インタビュー

農とは、もはや田畑で作物をつくることだけではありません。

国や地球全体の環境維持、私たちの生命、健康の安全・安心からエネルギー問題まで、現代の最も重要なテーマに直結するものです。

農が成功する道を拓くことは、この時代が豊かに生き延びる光を見出すことにほかなりません。

そんな時代の最前線に立つ戦士を育てるべく、

農学研究科では、非常に幅広い研究領域で実践に根ざした“生きた”研究を進めています。

大きな夢をもつ若者には、文句なしに魅力的な分野でしょう。

「農とは?」、「その現状は?」、「神戸大学の農学研究科はここが違う」などについて

内田一徳農学研究科長が語ります。

農業は国の礎。農学が取り組むのは「ミニガイア(小さな地球)」です。

地球環境と人々の生活をどう持続させていくか

農業、といえどどのようなイメージをもたれるでしょうか。土にまみれた古臭い印象、あるいはバイオの先端技術による植物工場のようなものかもしれません。こうした両極端の幅広さをもつのが農業であり、私たちの生命や環境、すべての基盤ともいえるものです。古代ローマ帝国は農によって滅んだ、といいますが、これは自国での農業によって食料を賄うことなく北アフリカなど外国からの輸入頼りにしていたことの結果だと考えられます。同様に、わが国も農が減ればその未来はないでしょう。

この農業を支えるのが農学です。私たちに安

全・安心な食を持続的に供給できるよう、未来のエネルギー開発や自然環境の保全までを扱う総合的な学問です。その対象は限りなく広く「ミニガイア」といわれるほど。そして、生物、化学、工学、経済…などの広い研究領域にまたがる農学部は「ミニ・ユニバーシティ」とも呼ばれています。

このままではいけないわが国の農の課題

日本は、「ふるさと」に歌われるように、美しい四季、豊かできれいな水に恵まれ、勤勉な国民性とあいまって、世界に誇る高品質で安全な農産物を生み出してきました。

一方、自然の生態系と人の暮らしとが溶け合っ

た、日本ならではの里山が年々減っているように、現代は農山村の過疎化、高齢化が進んで森林や棚田が荒れていく一方です。森林や棚田は「緑のダム」でもあり、それらの荒廃は下流の都市にも水害として影響を及ぼすようになっています。

地球規模でも、日本の食料自給率は約40%で先進国中最低、輸入による食の安全への脅威、エネルギー不足にさらされ、温暖化などの環境問題まで、課題は山積みです。

コウノトリが教える これからの農のモデル

わが国の農業の危機は、兵庫の県鳥・コウノトリにも象徴されていると思います。

もともとコウノトリは一般的な鳥で、昭和の初期には川で牛を洗う周りに群がっているほどでした。あまり動き回らず、くちばしで突ついた先にあるエサを食べる習性があります。そのため、田んぼや川の水の汚染、エサとなるドジョウやカエルの農業汚染、また湿地の減少で生息地が失われたことなどから激減し、1971年、豊岡市での目撃を最後に日本のコウノトリは一度絶滅しました*。

コウノトリの育たないような環境は他の動植物も人間も棲みにくい環境であり、生物多様性は失われ、自然環境にも生産物にも未来がない、という危機感が近年になってようやく広まってきました。

現在は、豊岡市でコウノトリの繁殖に努めるとともに、農業を控えて小動物や魚を呼び戻すなど、コウノトリを育むような里山、田んぼ、川、水路などの環境を改めていこうとする運動も豊岡市、兵庫県、JAなどによって進められています。こうした環境創造型の「コウノトリを育む農法」は、将来の環境、地域、文化まですべてを視野に入れた新しい農の試みだと思います。しかし、日本の農業全体からみればまだ少数派でしょう。

*国外から冬季に渡ってくるコウノトリや、人工飼育のものはまだいる。



実践農学を重んじる農学研究科では、多彩な活動が展開されている。
(写真左上)市内の幼稚園児たちと農場で芋掘り体験(右上)農場では土作りや草引きから始まり、収穫までを体験する(右下)柿の収穫風景(左下)優良種の改良を重ねた黒毛和牛



安全・安心で、持続・循環でき、 自然と共生する社会のために。

今、若者たちの農学への 関心が高まっている

地球の未来にかかわる農の難問を解決し、真に豊かな国、つまり自然環境と共生しながら後々の世代まで持続可能な社会を拓いていくのが、農学を学ぶ者の役割、使命です。農学のめざすところは現代の私たちにとって切実な問題であるだけに、農学人気の高まりもうなずけますね。

農学部志願者は、少子化にもかかわらずかなり増えており、偏差値も非常にレベルアップしていますが、学部、研究科ともに、そんな皆さんを全方位的にバックアップする環境を整えています。食の安全といった、以前は医学部や保健学科の領域であったものまでカバーして、「農場から食卓まで(From Farm to Table)の食料・環境・健康生命」に関わる諸問題を総合的に研究できるようになっています。

農業体験を通し 問題点を感じてほしい

わが校では、遺伝子解析など最先端の研究と

ともに、地域とつながりをもちながら、実践的な経験を積めるのも大きな魅力です。神戸大学農学部の学生はほとんど近畿都市圏出身で、農業の実体験があまりありません。学部や研究科の実習課程で、たとえば黒豆生産農家のお話をうかがったり、ともに作業をしたりするうちに新しい視野が開け、さらに研究のモチベーションが高まるのではないのでしょうか。

実習拠点のひとつ、農学研究科附属の食資源教育研究センターは播州平野に広がる40%の農場で、牧場、水田、野菜畑、果樹園などを備えた素晴らしい環境にあります。そこでさまざまな試みや研究のもとに学生たちが育てた米や野菜、果実、畜産物などが生産され、トレーサビリティ(食品の生産・流通過程をたどることができるとある安全・安心な生産物として市場にも出されています。

自らの手で作る 神戸大学ブランド

食資源教育研究センターからの代表的な農産物の一つが「神戸大学ビーフ」でしょう。但馬

牛(黒毛和牛)を約100頭育てており、遺伝子研究などで優良種の改良を重ねた同ビーフは、神戸牛の名に恥じない自信の味で、東京の日本橋三越本店で高価な値がついて販売されています。

また、年に一度、神戸市内のステーキハウスで「神戸大学フェア」というのが催され、このときは神戸大学ビーフがお手頃な値段でメニューに上るとあって、毎年大盛況なんですよ。

同じく同センターで栽培された「藤稔(フジミリ)」という品種の「神大ブドウ」は、1粒が25g以上ある最大級の大粒でとろけるような甘さ。収穫期には桐箱に入れられ贈答用として大丸神戸店に出されています。ほかにも、香り高い「神大ナシ」、「神大ポテト」と名付けられた赤い皮のジャガイモ(ネオデリジャス)、さらに、収穫した酒米を地元の酒造メーカーで醸造してもらった純米大吟醸「神戸の香」なども発売しており、我が校の特産品は一般の方々からもおいしくて安心・安全な食品として大変好評です。

いつか、こうした神戸大学ブランドを集めたレストランをキャンパス内につくりたい、とずっと思っています。

プロフィール

うちだ かずのり
内田 一徳

神戸大学大学院農学研究科長。専門は土地環境学、土質動力学(アースダム・ため池の耐震設計)。神戸大学農学部教授、農業土木学会理事などを経て、2009年から研究科長。趣味はワインとゴルフ、愛犬との毎日の散歩。



地球の未来の、救世主となれ。

持続可能な共生型の社会は農業がリードする

極論ですが、食糧危機がくれば日本の農業は復活する、と考えています。食糧危機になれば各国はしばらく外国への食糧輸出をやめる、すると日本は都市の人も地方に移って農業をやるしかないでしょう。うまく日本の農業が復活するには、今のうちに農地やため池をしっかりと守り、農業の底力をつけておかねばなりません。

そのためにもエネルギーの確保は必須です。今、バイオマス(動植物から生まれた生物資源)をエネルギー燃料にする試みが各国でさかんですが、その原料はトウモロコシやサトウキビなど食料が中心です。それらの栽培のために小麦畑が減り、南米の熱帯雨林がどんどん消えている。それでは意味がありません。これからは、たとえば雑草や藻やプランクトンなど、食料と競合しないバイオマスの供給源を開発する必要があるでしょう。

有効なバイオマス利用に世界中が知恵をしぼっている

バイオマスのエネルギー燃料利用については、街路樹の剪定枝を集めて木質ペレットにする、稲わら、家畜の排泄物などを燃料にするなど、多彩なアイデアが試みられています。運搬、流通や効率の問題など、まだ越えるべきハードルは少なくありません。

こうしたさまざまな先端的問題に立ち向かうため、神戸大学では全学的なスケールでの統合研究拠点を置き、10ほどの先端的プロジェクトを学

部の壁を越えて進めています。

そのうち、持続可能な低炭素社会を目標にバイオマスの開発研究を行っているのが、「バイオプロダクション農工連携拠点プロジェクト」です。このプロジェクトでは、植物などのバイオマスを原料にして、環境に負荷をかけることなく、液体燃料や化学製品などをつくり出すシステムを開発。農・工学部などが融合し、企業とも連携を図りながら精力的に取り組んでいます。明日の世界のために時代の最前線を開いていくのは、なんとエキサイティングではありませんか。

あなたのユメ×神大農力(和の力) =∞(無限大)とは？

こんな力強い書が、農学部の学生ホールに掛けられています。学生の皆さんの若い力と夢に、教職員や先輩学生の和の力「神大農力」を掛け合わせれば、無限大のことができる、という意味です。

お話してきたように、農学は地球スケールのことを考えながら、地元の、毎日の生活そのものに密着した活動や研究を行うものです。農学部のミニ・ユニバーシティでは、そんな学びに求められるあらゆる環境——一人ひとりの夢を全力で受け止める教職員スタッフやカリキュラム、充実した最新設備、地域や海外演習などの教育研究態勢——などを揃えて無限の可能性を引き出していきます。壮大な研究はすぐに成果が現れるものではありません。長いスパンの中で、国の、地球の未来を変えよう、大きな夢を抱いてやってください。いっしょに、大きな夢で明日を変えていきましょう。

神戸大学農学部・農学研究科沿革

- 1949年 神戸大学農学部は、丹波・篠山町(現篠山市)に開設された兵庫県立農科大学として開学
- 1952年 兵庫農科大学と改称
- 1966年 国立移管し、神戸大学農学部となる
- 1972年 大学院農学研究科(修士課程)設置
- 1981年 大学院自然科学研究科設置
- 2007年 大学院農学研究科設置

農学研究科 専攻

(農学部では3学科6コースを設置)

「農場から食卓まで(From Farm to Table)の食料・環境・健康生命」をモットーに、学部(B)から修士課程(M)、博士課程(D)に至るまで、BMD一貫体制で教育・研究を行っている。

●食料共生システム学専攻

農業工学および農業経済学の知識と技術を協働。持続可能な自然環境を保全するため、食料生産から流通、消費に至る全プロセスのシステム研究

●資源生命科学専攻

動植物を遺伝子から生態系レベルで理解し、食料生産の質・量の向上を図るための生物資源の開発・改良

●生命機能科学専攻

生命現象を生物学・化学の両面から探究し、食品の安全性向上と機能開発を通して人の健康の維持・増進に貢献する研究

地域や社会ニーズに沿った実践的な農学教育のため、学生主導で多彩な活動を行っている。

●附属食資源教育研究センター

●食の安全・安心科学センター

●地域連携センター



自転車で地域の“宝探し”に行く女子学生



黒大豆の選別



かまどを使って煮炊きをする体験も

食農コープ教育プログラム

農家に弟子入りする

～神戸大流・実践農学～

伊藤 一幸教授

神 戸大学は都会の大学でサラリーマンの子弟をたくさん預かっています。これでは農家の実態が分からない。そこで「農家に弟子入りする」というコンセプトで作ったのが食農コープ教育プログラムです。コープ教育は、アメリカで100年以上の歴史を持ちます。教室での学習と関連した職業体験や生活体験を学生に提供し、より現場や社会に貢献できる実践的な人材を育成するものです。

きっかけは農学部に入学したばかりの女子学生が農学部の「目安箱」に「農家で実地の農業を体験させてほしい」と投書したことです。「私を農家に連れてって」ですね。私も附属農場で実習をさせていますが技術指導ですから、学生たちが農家の実態を知る機会がない。幸い神戸大学農学部の前身は篠山市にあった兵庫県立兵庫農科大学で、2007年には神戸大学と篠山市で地域課題解決と教育研究の充実のために地域連携協力協定が結ばれました。そこで、篠山市をフィールドにしたプログラムを組むことにしたので。狙いは学生たちを農業に目覚めさせるというか、農へのまなざしを強めることにありました。農家の人でなければ教えられないことがあります。篠山

には黒豆マイスターとか栽培技能を持っている人がたくさんいますのでね。

08年1年間は足慣らし期間でしたが、実質的にスタート。09年から3年間は文部科学省の教育GP（質の高い大学教育推進プログラム）に採択され、今年度からは大学の予算で継続するとともに、領域横断の「ESDコース」にも取り上げられ、農学部だけでなく全学の学生が受講できるようになりました。

このプログラムは3年間展開します。1年目は「実践農学入門」。農家に弟子入りする位置づけで、学生への意識付けの段階です。1年生で篠山に8回通っても農家に役に立つわけではありません。受け入れを希望する集落に手を上げてもらいます。毎年お世話になる集落も変えています。「それぞれの集落の問題点を見つけて解決法を提案する」のが狙いです。そして学生たちはずっと地域とのおつきあいを続けます。

こ のプログラムを土台に3つのグループが生まれています。09年度の1年生が結成した「ささやまファン倶楽部」は篠山市真南条上集落で活動しています。地元の由利山を子どもたちが遊びに来たくなるような里山にするのが目標です。10年度は「ユース六篠^{リクソウ}」、11年度は「はたもり」

が生まれています。学生中心に運営されているのが素晴らしいところです。2年目には「兵庫県農業環境論」、3年目には「実践農学」と進んで、集落に具体的な課題解決の提案をします。実践農学になると、「村づくりチーム」「森づくりチーム」に分かれて、地域の伝統行事、料理などの“宝物”を探したり、里山の整備をしたりしています。

これまで、葉の色が違う稲を使っての「田んぼアート」、休耕田を学生が肩を組んで足踏み代掻きして作る「生物多様性湿地の創生」や「地域資源地図づくり」「栽培支援のための生物暦づくり」「一日農家レストランの実施」など多くの成果が出ています。

この活動を支えているのが篠山フィールドステーションです。篠山市が神戸大学のために市役所近くの2階建てのビルを借り上げて提供いただいているもので、篠山市の農家と神戸大学の「結節点」になっています。セミナー室があって、研究・教育の拠点になっていますし、研究員2人が常駐しています。これで農家と地域との交渉がスムーズに進んでいます。

このような農家との連携を都会の大学がやっているところが神戸大学らしいのかもしれません（談）。

農学研究科・各講座特徴ある

研究科で行われているさまざまな研究の中から、特徴のある6つの分野をご紹介します。

生産環境工学講座

(執筆:伊藤 博通准教授)

1 植物工場における高品質植物生産に関する研究です。植物は気温や光など様々な環境に順応し多くの物質を生産します。植物の環境応答を解明すると、有用物質を効率的に生産させる環境を知ることができます。植物工場はこの最適環境を周年で実現できます。高品質植物生産のために人工環境を造り出す環境制御技術、植物生理学、そして植物が発信する情報を取得・解析する情報処理技術が必要となります。このため機械工学、生物学、情報工学を融合させた生物生産情報工学の研究を行っています。

2 研究課題の一つに植物内硝酸濃度の非破壊計測技術開発があります。硝酸は植物成長に必要ですが人体には有害となる可能性があります。植物の成長促進と低硝酸を実現する環境制御に、硝酸濃度の非破壊計測技術が必要です。計測法の核となる基礎技術について特許出願しており、民間企業との共同研究により実用センサーの開発を行っています。

3 EUでは野菜中硝酸濃度の上限値が法律で定められています。日本では規制がありませんが、高品質野菜に低硝酸が求められています。生産、流通、小売の各現場で硝酸濃度の把握は品質評価のために必要です。

4 食用野菜に加えて2011年から薬用植物高品質生産の研究を始めました。日本の生薬総使用量に対する生産国の割合は83%が中国です。中国の経済成長に伴い高品質薬草の輸入が困難になっています。多くは野生であるため栽培ノウハウが確立された薬草は限られます。国内の植物工場が高品質薬草を栽培する技術開発が必要です。



人工気象器内におけるレタスの栽培実験

食料環境経済学講座

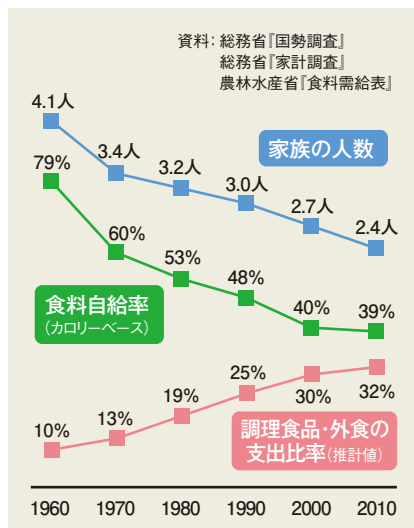
(執筆:草苺 仁教授)

1 食料自給率の向上策です。調理食品や外食への依存度が高まった今日、それらの原材料は輸入比率が高いため、国産農産物のニーズは縮小しています。その背景に、家族人数の減少や単身世帯の増加による家事の効率低下があります。理系のため、計量分析で現実を捉えます。

2 少人数化・単身化した家計のニーズにどう対応するかという、社会科学的なアプローチが鍵です。健康志向の強い層には従来どおりの高品質化、増加している価格重視の層には低コスト化で対応すべきです。なお、社会科学のため、特許は対象外です。

3 ニーズの縮小は日本農業の縮小を意味します。一方、農産物の国際市場は今後も価格の高騰を繰り返すでしょう。経済的弱者である発展途上国では死活問題です。日本が食料輸入大国になるほど高騰に加担することになります。

4 従来、日本は農業保護のコストを食料価格に上乗せて家計に転嫁してきました。今後、新たな政策枠組みが必要であり、そのための課題が残されています。計量分析を駆使して、新政策の設計に結びつけたいと考えています。



応用動物学講座

(執筆:万年 英之教授)

1 家畜のゲノム解析を利用し、おいしくて健康的な牛肉を作るDNA診断法を開発しています。また、牛肉の偽装表示を防ぐウシの品種や産地を鑑定するDNA診断法を開発しています。

2 牛肉のおいしさに関わるDNA診断法は日本全国で用いられ、和牛の改良に役立っています。海外でも注目され利用が進んでいます。牛肉の鑑定法も農水省の抜き取り検査や企業の受託検査に用いられています。すべて特許取得済みです。

3 日本の和牛は大切な遺伝資源です。よりおいしい牛肉を作ることで和牛肉の国際競争力をアップさせます。また、和牛や輸入牛肉を鑑定できることにより牛肉偽装がなくなり、安心して牛肉を選べます。この2つのDNA診断法は、和牛肉を海外に輸出する戦略の上でも重要となります。

4 農学は農業に関係する様々な諸問題を総合的に解決する応用的な学問です。家畜のゲノム研究を通して、日々変化していく「食」における問題を解決しより良い「食」を探究していきます。



(左) 品質の高い黒毛和牛種 (下) 日本橋三越などでも人気



研究アンケート

質問

- 1 先生が今進めておられる研究は何ですか？
- 2 実用化のめど、特許についてはどうなっていますか？
- 3 それは日本、世界の農業にどのように役立つのですか？
- 4 先生の研究の今後の展開は？

応用植物学講座

(執筆: 東 哲司准教授)

- 1 南米のアマゾン川流域に自生している野生イネの深水適応について研究しています。この流域では、深さ10m以上の洪水に見舞われることがあり、そのような環境でも生存できる野生イネの適応メカニズムを調査しています。
- 2 近年、地球で起きているさまざまな環境変化への応用なども考えたいと思います。
- 3 アジアの大河流域では、浮稲と呼ばれるイネが栽培されています。その栽培地では、雨季には河川が氾濫し、長期間にわたって洪水状態となります。浮稲は、洪水による水位上昇に伴い植物体が伸長して最大5mぐらいになります。アマゾンの野生イネの洪水適応能力を浮稲に付与することで、より洪水耐性の強いイネを作れると考えています。
- 4 洪水耐性イネと呼ばれる品種では、完全に水をかぶってしまうと成長を止め、水が引くのを待って成長を再びはじめます。そうすることで、水が引いた後の倒伏を防ぎ、正常な成長を続けることができます。これらの能力を浮稲に導入することで、短期間の急速な冠水では成長を抑え、長期間の水位上昇では旺盛に成長するスーパー浮稲の開発を目指しています。



深水処理により草丈が約5mになったアマゾン野生イネ(左)と浮稲(右)

応用生命化学講座

(執筆: 山形 裕士教授)

- 1 「植物の遺伝子発現調節機構の解明」がテーマです。光合成関連遺伝子など多くの植物遺伝子の発現は光により調節されています。cGMPが光シグナル伝達を仲介していることを発見しました。また、紫外線による遺伝子発現調節機構も探っています。さらに、メロンの果実に存在する酵素の遺伝子が、どうして果実だけで発現するのかを調べています。
- 2 「果実特異的発現をコントロールするDNA塩基配列」の国際特許を取得しました。この配列の後に様々な遺伝子をつないで植物に導入すれば、そのタンパク質は果実だけで発現します。現在、ヒトインターフェロンをトマト果実に蓄積させる研究を進めています。
- 3 医薬品ペプチドを植物に作らせる技術をもつ分子農業と呼んでいます。今後、様々な有用タンパク質が植物を用いて生産されるようになると予想されます。経口ワクチンを植物に作らせれば食べるだけで疾病を予防できる野菜やフルーツもできます。
- 4 バイオニアワークを目指していますが、研究は「分け入っても分け入っても青い山」で頂上がどこなのかさえわかりません。



光合成能をもつダイズの光独立栄養培養細胞(SB-P細胞)。日本では当研究室にしかない。



遺伝子組み換えトマト(Micro-Tom)

農環境生物学講座

(執筆: 藤嶽 暢英教授)

- 1 土壌や河川中の有機体炭素の特性を調べ、生態系における炭素循環プロセスを明らかにしています。土壌には地上生物の3倍、大気の2倍以上の炭素が蓄積されています。温暖化や気候変動は地球の炭素循環のバランスが崩れて生じる問題ですが、土壌に蓄積している炭素が森林伐採や農耕利用などの人為の影響や気候変動によって、二酸化炭素として分解・放出されるプロセスを世界各地の森林を中心に調べています。
- 2 環境変化の影響で土壌の炭素(有機物)がいかに増減するかという情報は、人類が自然と共存共栄するための指針策定に必要です。実用化や特許という狭い範囲ではなくて、生態系サービスの保全という視野で研究しています。
- 3 農業に限らないのですが、人為や気候変動の影響を明示し、温暖化抑止のための科学的根拠を立脚することで結果的に農業生産にも貢献できると考えます。
- 4 これまでは世界各地の高緯度地域に分布する森林を中心に研究してきましたが、農地の研究にも注力する準備を進めています。



各地の土壌調査や河川・湖沼調査を行っている

オックスフォード大学東洋学部日本学2年生の12人全員が昨年10月来日、神戸大学文学部で勉強、周囲に大きな刺激を与えています。

2011年に神戸大学とオックスフォード大学が締結した覚書「神戸オックスフォード日本学プログラム(KOJSP)」に基づくもので、オックスフォード大学東洋学部日本学の学生は2年次の1年間、神戸大学で学ぶことになったのです。これは5年間続きます。その1期生が来日して百日余。彼らが学生寮で暮らしながら見聞した日本、神戸大学について大いに語ってもらいました。

座談会には留学生のシャム・パテル君、ニコラ・フィリップスさん、ガブリエル・ニクリン君、シャーロット・フィットさんの4人に加え、アドバイザーボードの長野順子教授、鈴木義和教授、学生チューターの今木萌さん、倉成祥子さんにも助け船を出していただきました。

日本の伝統芸能
紗夢・パテル



OXFORD大学東洋学部留学生 座談会

OXFORD

日本のお正月は やさしい雰囲気

—皆さんが来日して100日以上が過ぎました。日本に来て楽しいですか?

シャーロット 毎日楽しい。最初は大変だったけれど、自転車で買い物に行っています。

ガブリエル 大変、坂道が多くて。

—一番遠くはどこまで。

シャーロット 自転車で、三宮やハーバーランドまで行ったこともあります。

シャム 私は歩くのが好きです。毎日学校まで

(笑)。大学まで通う途中、おばあちゃんがいさつしてくれます。

—お正月で一番心に残ったのは?

ニコラ やさしい雰囲気でした。みんな家族と食事してお祈りして、いい気持ちです。着物を着ている人もいて。

—お正月はどう過ごしましたか?

ニコラ 3人で大阪に行きました。2日は生田神社に初詣しました。(住んでいる寮の近くの)五毛天神にもお参りました。おみくじを引いたら「bad」(凶)でした。

シャム 私は吉でした。

日本は果物、野菜が 少ないのにびっくり

シャーロット 日本の食べ物は脂肪分が多い。果物があまりないのでびっくり。野菜も手に入れにくいです。

—イギリスと日本の文化の共通点と相違点を。

ニコラ 共通点はお酒の大切さ。たとえば職場でみんなで飲みに行く。

ガブリエル イギリスでも学生は飲み過ぎます。

シャーロット 日本とイギリスは島国の考え方。イギリスはヨーロッパと離れている。神戸大学で



和服の着付けを体験



留学生フォーラムでは、イギリス文化の発表を行った



日本人学生とさまざまな文化交流を実施している



ラドクリフ・カメラの前で。男性は白のボウタイ、女性は黒のリボンタイが大学の正装

カラオケ♡
日本の心理学
を学びたいです。
ニコラ・フィリップス

空手道
相撲
屋久島へ行きたの
ガブリエル＝クリス

料理美術登山 温泉が好き
谷崎潤一郎を日本語で読みたい。
文学の翻訳について色々
習いたい。
シャーロット

日本で好きなことを4人に聞いてみました。

がやって来た!

ヨーロッパの人とつきあって、「イギリスはヨーロッパでしょう」と言われた。

全員 違う!

シャーロット イギリス人はイギリスはユニークと
考えています。

鈴木 意識的にヨーロッパから離れているとい
うことかな。

ニコラ 小さい国ですから。雨がたくさん降って
いるから。イギリスは私、特別な国と思います。

長野 日本も同じ。季節があって。

シャム 四季がはっきりしています。

シャーロット イギリスと日本の共通点は自分の
国は何か特別な国と感じていること。島国だから。
イギリス人は日本人を最初は冷たい、でも丁寧と
思いました。

鈴木 日本人は恥ずかしがり屋です。

シャーロット イギリス人はマナーを大事にします。

ニコラ 特に食べ方。

全員 (うなづく)

—日本のマナーは教わりましたか?

長野 たとえばお辞儀をするとか。

シャム 私はいただきますを習いました。

長野 みなさんお箸を持てます。

—オックスフォードでは食事のときにお祈りは?

シャーロット 正式な食事はカレッジによって週
1、2回。ラテン語でお祈りするカレッジもあります。
正式な服装で(男性は)ボウタイを締めて。

ニコラ ジェームズ・ボンドのように。学年試験の
時は白いボウタイです。ハリー・ポッターのように。

シャム 花もつけていきます。

ニコラ 最初は白くて(高学年になると)どんどん
赤い花に変わるんです。

—日本とイギリスで違うところは?何でしょう。

シャーロット イギリスの学生生活の方が自由な
気がする。初めて日本に来てルールがいっぱいあ
りました。寮にルールがあって、友達を部屋に入れ
てはいけないとか。女性の友達もだめなのです。

全員 厳しい!

ニコラ オックスフォードの寮には共通の部屋が
たくさんあります。

鈴木 みんなで集える部屋がないのは困るね。

長野 もう少しオープンスペースがあるといいですね。

シャーロット 共同生活をしていると一般の人と
出会いにくい気がします。私たちは外国人なの

で、バスなど公共の場所で声をかけてくれます。

ニコラ 温泉に入るときとか。「いつまで日本にい
るの」と声をかけられます。

長野 温泉は行きました?

シャーロット 有馬温泉とか、銭湯とか。

ニコラ 銭湯はたくさん行きました。初めは恥ずか
しかったけれど。

シャーロット イギリスでは外国人は目立ちませ
ん。日本では最初は大変でした。人がいつも見て
いる。

—1月に書道のイベントがあったのですか?

長野 1月16日に国文学の福長進先生が書き初
めの会をして下さいましたね。

シャーロット 私はオックスフォードでやりました。

ガブリエル 先生の字は上手でした。私は下手
で。「賀春」を書きました。先生は私の名前を漢字
で考えてくれました。

シャーロット これから書道の教室に行こうと
思っています。

—オックスフォード大学と神戸大学の学びの違
いは?

ガブリエル オックスフォードにはチュートリアルが

あります。

ニコラ 先生と一対一で話し合っ(テーマを決めて)エッセーを書く。自分でちゃんと準備しないと本当に困ります。週に一回か二回あります。

11月に神戸大学で開かれた「神戸オックスフォード日本学プログラム・キックオフシンポジウム」でもチュートリアルは話題になりました。講演でオックスフォード大学東洋学部長、ビャーク・フレシビグ先生は「オックスフォード教育の本質はチュートリアル。教員が週に1、2回、1時間ずつ1~4人の学生に課題図書を読ませてエッセーを書かせる。これによってインディペンデント・クリティカル・シンキングを身につけるのがオックスフォード教育だ」と強調。オックスフォード大学教授、苅谷剛彦先生も「オックスフォードの学生は学期内で1日8時間、学期外で1日6時間の勉強をしている」と、日本の学生との違いを指摘しました。

—チュートリアルを神戸大学でもやった方がいいですか?



「書き初め会」では、書道を体験

シャーロット チュートリアルでは1時間で本当にたくさん学びます。日本の講義では寝ている学生がいます(笑)。びっくりします。

鈴木 オックスフォードでは講義の時間が短い?
全員 50分です。

シャーロット 科目によって違います。たとえば歴史を学んでいる学生なら講義はほとんどないです。チュートリアルだけです。

ニコラ 文法、古典のクラスいろいろあります。

ガブリエル 化学の学生は実験があります。

ニコラ イギリスでもチュートリアルは普通じゃない。オックスフォード、ケンブリッジでやっているだけなんです。

—神戸大学に来て自発的に勉強していることはありますか?

シャーロット 授業は一日少なくとも3時間あります。自分で勉強する時間は少ないです。

—オックスフォードでは一日どれくらい勉強してい

ましたか?

ニコラ 3時間以上。今は机の前に座る時間は多くなったけれど。去年は金曜日一日中図書館で勉強していました。

鈴木 それはチュートリアルのための勉強ですね。

ニコラ そうです。大変です。

社会問題から伝統芸能まで 学びの対象は広がる

—今、皆さんは何を一番勉強したいですか?

ニコラ 私にとって日本人の心理学、社会問題を学びたい。最近の私の発表は同性愛者を日本人はどうみているかでした。それに伴う歴史も学びたいです。

—日本では安土桃山時代など同性愛は結構ありました。

ニコラ それはおもしろいです。イギリスでは宗教の影響で同性愛者は排斥されました。でも日本では同性愛者について語るのは初めてという方が多いです。ゲイについてステレオタイプでとらえている気がする。

ガブリエル 私は日本語学を勉強したいです。鈴木先生に教えてもらいます。たとえば丁寧語、女性と男性の言葉が違うことに興味があります。

シャーロット 日本文学を読めるようになりたい。日本を知る一番いい方法だと思う。

—好きな作家は?

シャーロット 谷崎潤一郎です。『細雪』、『蓼喰う虫』、『痴人の愛』を読みました。西洋の文化が日

オックスフォード大学 東洋学部 日本学

オックスフォード大学はイギリスで最古の伝統的な大学として、その創立は中世の12世紀頃にまで遡り、現在に至るまでケンブリッジ大学と並びその出身者は各界のリーダーを占めている。最初は神学及び人文諸科学を中心としていたが、19世紀半ばより自然科学や社会科学諸分野も発展。さらに国民各層に門戸を開いてきた。ボドリアン図書館、アシュモレアン博物館等の施設も充実、またオックスフォード大学出版局の出版物には世界中の研究者が恩恵を被っている。

大学教育は個別指導のカレッジ(college)と講義中心の学科(department)が並行する形で構成されている。主なカレッジにはクライスト、マー

トン、ベリオール、ハートフォードなどがある。学生はそれぞれ伝統と特色を持つこれらのカレッジのいずれかに所属して、そこで寄宿舎生活をおくりながら、各カレッジに属する教官から一対一の指導(チュートリアル・システム)を受け、必要に応じて大学施設で行われる講義に出かける。これは、イギリスでもオックスフォード大学とケンブリッジ大学に特有のシステムであり、カレッジとは「専門分野を超えて教員と学生とが学びと生活を共有する学問共同体」である。チュートリアルと呼ばれる個別指導(学生2、3人に1人の教員)では、学生は毎週、何冊もの文献を読み、教員から課された課題についてのエッセイ(A4用紙10枚程度のレポー

ト)を提出する。[参考:苅谷剛彦『イギリスの大学・ニッポンの大学—カレッジ、チュートリアル、エリート教育』中公新書2012年]

オックスフォード大学東洋学部(Faculty of Oriental Studies)は、イスラム、ヘブライ・ユダヤ、東方正教会、エジプト、南・中東、東アジア研究などからなる長い歴史をもつ。この東洋学部の東アジア部門に属する日本研究(Japanese Studies)は比較的遅く1963年に出発、短期間で大きく発展した。現在は、1981年設立の日産日本問題研究所とも提携して、日本語を含め日本の歴史・文化・社会の各領域にわたる質の高い研究活動を推進している。

本にどのように影響を及ぼしたかが分かります。私は翻訳に興味を持っていますから、日本の文学や芸術に言語的に文化的にどのような問題があるか興味があります。

—村上春樹は？

シャーロット 暗いです。

—ではシャムは？

シャム 私は日本の伝統的な芸能に興味があります。特に師弟制度。私はインドの古典舞踊と音楽を習っていて、そのような制度を体験しているので日本の師弟制度を調べたい。

—インド舞踊にも厳しい徒弟制度があるのですか？

シャム 日本に来る前、2、3カ月、踊りの先生の家に住んでいました。大切な演奏があったので、その練習をしたり、先生の家の掃除をしたり、料理をしていました。

鈴木 日本と一緒になんだ。

シャム それはロンドンでしましたけれど、インドではもっと厳しいです。

—シャム以外の皆さん、どんな趣味を持っていますか？

ガブリエル 10歳から空手をやっていてイギリスでは二段でした。空手を習ううちに日本に興味を持ったのです。神戸大学の空手部は私が習っていたのと同じ流派なので助かりました。週2回武道場に通って型や組み手をしています。

シャーロット イギリスではバレエを習っていました。日本の教室は授業料が高くて残念です。今



週から書道を始めました。写真も。登山にも興味があるので摩耶山や六甲山に登りました。夏には北岳に登ります。

ニコラ 書くこと。私は日記をつけています。日常生活のおもしろいことを家に帰ってから書いている。英語で。将来の夢は本を出すことです。ノンフィクションですね。日本や韓国のことを。韓国では食料別に小さい冷蔵庫を用意する。牛乳専用の冷蔵庫があると聞きました。オックスフォードに戻ったらラジオで朗読したい。声が低いので向いていると褒められました。

留学生は秋に来日している サークル活動に参加しやすくして

—皆さんはオックスフォードプログラムの一期生です。後輩たちのため、さらに良くするための提言を。

ガブリエル サークル活動に参加しやすくしてほしい。

シャーロット 日本人の友達を作るのにそれが一番いい。(みんな4月から入っているから)途中からでは難しい。

長野 ショーン君は今度、神戸大学のオーケストラに入ります。フルトがとても上手です。

今木 アレックスは六甲クラブ(ラグビーのクラブチーム)に入っています。

—オックスフォードプログラムの卒業試験はあるのですか？

長野 7月31日に修了式があります。そのとき全員にプレゼンテーションしてもらいます。

—最後に。日本で一番好きなどころはどこですか。

ニコラ 銀閣寺。

シャム 私は奈良の東大寺。静かで。

神戸が大好きです 海と山にはさまれて

シャーロット 神戸が大好き。通学の時に山を見て海を見て。ときに知り合いに会うし…。東京は本当に怖かった。

ガブリエル 私はロンドンに住んでいるから混んでいるところが好きです。有馬も好きです。イギリスには温泉がありませんから。お正月の入初式にも行きましたから。

アドバイザーボードとチューターの皆さん



オックスフォード大学を象徴するラドクリフ・カメラ (図書館の一部)



鈴木 義和教授
オックスフォードの学生の日本語文法指導教官でもあり、アドバイザーボード委員を務める。



[チューター]
今木 萌さん(3回生)
年下だけれどみんなしっかりしています。女の子はおしゃれに興味があるし、私たちと興味を持つところはあまり変わらないと思いました。京都に行ってレンタル着物で歩いたのが思い出です。



長野 順子教授
オックスフォードの学生たちのアドバイザーボード委員長として、今回のプログラム全般に関与。



[チューター]
倉成 祥子さん(3回生)
何にでも積極的です。先日、カルタの大会に参加したときも先生が花札を出してきたら知らないものだからすぐ食いついた。初めて会ったときからみんなメモ取るし、最近ではオックスフォード生同士でも日本語で会話しています。

神戸大学では、約106ものさまざまな課外活動があります。
今回は、体育会と文化総部から2つの組織をご紹介します。

戦前から続く、長い伝統のある体育会

神戸大学航空部

— グライダーについて教えてください。

グライダーはエンジンがなく、上昇気流を利用して飛ぶ航空機。「空の女王」とも呼ばれるほど優雅なスカイスポーツで、欧米では長い伝統があります。最初は恐怖心がありますが、一度空を飛んでみると、とにかくほかでは得られない感動があるスポーツです。

— 部のこれまでの歴史は？

この部の歴史は古くて、かつては戦争のための飛行訓練を行っていたり、OBの中には特攻隊の教官もいたのだそうです。その名残なのか、今でも合宿の時のフライトのことを、代々「訓練」と呼ぶのが神戸大学航空部の伝統なんですよ。

— 主な活動内容について聞かせてください。

普段は座学が中心になります。機体の名称から点検の仕方、気象のことなど、覚えなければならないことは非常に多い。実際の航空訓練として

は、年に4回の合宿を通して飛行技術を身につけていきます(もちろん、教官と一緒に搭乗します)。— どんなきっかけで入部する人が多いのでしょうか。

とにかく飛行機に乗ってみたいって入った人、部室でわいわい仲間と集うのが楽しくて入部した人など、部員の目的はさまざまです。体育会らしい厳しさがなく、ほんわかした雰囲気なので、そこに魅力を感じた人も多くですね。

— 最後に航空部の魅力を。

大学に入ってからグライダーを始める人ばかりなので、部員同士の一体感が強い一方、他大学と共同で行う合宿を通して、外部とのつながり作りもできます。飛行機自体を楽しむのももちろん、幅の広い人間関係を築けるのも魅力の一つだと思います。

主将・天白匠海さん(発達科学部・4年生)

航空部 DATA

- 設立 1932年
戦前、兵士たちの飛行訓練も行ってたという。特攻隊の飛行教官を務めていたOBもいたとか。
- 部員数 12人(男性9人、女性3人)
- 年間を通しての活動:
【定例活動】
毎週金曜日18時頃から、部室で座学。グライダー実技や気候条件、機体工学に関して、部室で和気あいあいと楽しく教え合う。
【合宿】
年に4回、木曾川滑空場や大野滑空場(岐阜県)で合宿。また、整備に関する講習会や他大学との共同勉強会もある。
【その他】
学園祭での出店や旅行、飲み会なども。
- ホームページ
神戸大学航空部 <http://kobeugc.web.fc2.com/>



エンジンを持たないので、飛行機やウインチで上空まで曳航してもらい離陸。その後、上昇気流をもらって飛行する。初フライトは本当に感動!



整備も大事な活動の一つ。普段から、機体に関するさまざまな知識を身につけていく



虹に向かって飛行。空から見る景色の美しさは格別



課外活動団体(公認)一覧 ※平成25年4月現在

今回ご紹介した「航空部」、「はちの巣座」以外にも、神戸大学にはたくさんの公認課外活動団体があります。

文化総部

児童文化研究会、演劇研究会、男声合唱団グリークラブ、混声合唱団エルデ、混声合唱団アポロン、マンドリンクラブ、写真部、能楽部、E.S.S.I.S.A.、ユースホステルクラブ、将棋部、茶華道部、文芸研究会、軽音楽部、探検部、天文研究会、クラシックギター部、邦楽部、児童文学研究会、競技ダンス部、考古学研究会、自由劇場、交響楽団、映画研究部、漫画研究会、ニュースネット委員会、落語研究会、凌美会、ガーデニングクラブ、ブルーグラスサークル、競技カタルタ

応援団総部

応援団、吹奏楽部

学生会

国際問題研究会、経営学研究会、法律相談部、アイセック、書道研究会、コンピュータ部、総合ボランティアセンター、TRUSS(トラス)、就職活動支援組織job-navi



過去に有名人も輩出した、神戸大学公認の劇団

神戸大学演劇研究会 ※通称:「はちの巣座」

—「はちの巣座」の活動内容について教えてください。

純文学系、コメディ、ホラー… etc.ジャンルにとられず、さまざまな舞台に挑戦しているのが劇団「はちの巣座」です。年5回の公演を中心に活動しており、舞台演出や小道具準備、広報宣伝からチケット販売まで全て自分たちの手で行っています。お客さまからお金をいただいて舞台を見ていただくわけですから、本当に真剣勝負です。

—「はちの巣座」の特徴は？

脚本は既成の作品を使っており、なかでも会話中心の劇を扱うことがほとんどです。だから脚本の深いところまでを読み解き、登場人物の心情などをみんなでああこうだと議論し合って作りあげていくことを大事にしています。そのプロセス

がすごく楽しいし、公演でお客さんに何かを感じてもらえた時の達成感は大きい！年5回の公演以外に個人で劇場を借りて、自主公演まで行う部員もいるぐらいなんですよ。

—最後に「はちの巣座」の魅力を。

ほとんどの部員が大学から始めた人ばかり。脚本を読み解き、役者の動きを考え、発声練習をし…と、何が何だかわからないところからスタートして、最後には登場人物になりきり、舞台が完成していくのを体験できるのは大学時代ならではの体験。部員同士、精神的な面で深く付き合うので親密にもなりますし。もちろんみんな飲みに行ったり、ドライブや旅行などワイワイ楽しむことも多いです。

部長・川真田翔さん(文学部・4回生)



はちの巣座 DATA

●設立 1981年

神戸大学公認サークル。神戸大学以外の部員も所属。OBには佐々木蔵之介や西田シャトナー、腹筋善之介など、現在テレビ・舞台で活躍中の演劇人も。

ちなみに設立当初、「劇団の名前、何にしようか?」と考えていた頃、部室の入り口近くに「はちの巣」があったのが名前の由来だとか。

●部員数 48人(男性28人、女性20人)

●年間を通しての活動:

【定例活動】

通常は週3日(平日2日・土曜)練習を行う。公演1か月前からは週4日活動に。場所は学生会館3F、部室、または出光佐三記念六甲台講堂など。

【公演】

新入生歓迎公演、部内公演、新人公演、六甲祭公演、卒業公演の年5回公演。部員は入部後、役者とスタッフの両方を経験する。

【その他】

ドライブや旅行、飲み会などの交流も。

●ホームページ

はちの巣座 検索

<http://hachinosuza.web.fc2.com/>



撮影/神戸大学ニュースネット委員会

2012年卒業公演の「太陽」の舞台から。「太陽」は、パイオテロにより拡散したウイルスで人口が激減した近未来を舞台に人間の本质を描いたサイエンス・フィクション



小道具手配や舞台、照明関係の制作も持ちまわりで担当

恒例の新入生歓迎公演は、4月14日(日)～17日(水)の予定。今年は松本大洋による「メザスヒカリノサキニアルモノ若しくはパラダイス」が脚本。※写真ポスターは2012年度



体育会

陸上競技部、水泳部、硬式野球部、準硬式野球部、硬式庭球部、ソフトテニス部、男子バスケットボール部、女子バスケットボール部、ハンドボール部、ラグビー部、サッカー部、ホッケー部、男子バレーボール部、女子バレーボール部、卓球部、バドミントン部、剣道部、弓道部、洋弓部、柔道部、空手道部、馬術部、山岳部、ワンダーフォーゲル部、スケート部、漕艇部、ヨット部、自動車部、日本拳法部、少林寺拳法部、スキー部、合気道部、航空部、ゴルフ部、フェンシング部、体操部、アメリカンフットボール部、サイクリング部、ソフトボール部、カヌー部、ウインドサーフィン部、アイスホッケー部、ラクロス部、極真空手部、フットサル部、居合道部、男子端艇部、女子端艇部、スノーボード部、海事科学部硬式野球部、オフショアセーリングクラブ

サークル連合

サッカー部(II)、軟式(準硬)野球部(II)、バドミントン部(II)、軽音楽部(II)、硬式テニス部(II)、バレーボール部(II)、バスケットボール部(II)、フットサル部(II)、ワンダーフォーゲル部(II)、学生震災救援隊

特定団体

新聞会、放送委員会、六甲祭実行委員会、厳夜祭実行委員会

東京地区で神戸大学のプレゼンス向上を目指して シンポジウム

東京地区での神戸大学のプレゼンス向上を目指すシンポジウム「神戸大学のミリオク」が2月9日(土)、東京都港区の青山ダイヤモンドホールで初めて開かれました。神戸大学の特長を紹介する初めての試みでしたが、当日参加者も多く中高校生や保護者、大学生、神戸大学卒業生ら150人を超え、休憩時間の神戸スイーツの試食も大人気でした。

東京地区で神戸大学の知名度、認知度が意外に低いという卒業生からの声がかっけでした。東京におけるプレゼンスの向上という目標を掲げ、神戸大学基金の事業として今後3年間は継続して開催することとし、2012年5月から準備を始めました。冠テーマを決めるとともに、講演者、ポスターを学内から公募することにしました。おしゃれで美味しい神戸の街にある大学として印象を深めてもらうために、シンポジウム会場で神戸スイーツも提供することになりました。開催は2月9日(土)。会場も交通の便が良い東京港区の青山ダイヤモンドホールに早々と決まりました。

難しかったのは集客です。第1回は中高生と保護者をメインターゲットに据えました。9月に大学ホームページで告知を始め、シンポジウム専用のFacebook、Twitterも立ち上げ。関東圏の高校1399校へチラシ、案内文、ポスターを2回にわたって送付。全国4000校に配布される高校生新聞での告知と関東圏の高校500校に高校生新聞折り込みでポスター配布、関東圏の理科系高校教師700人へのダイレクトメール、東京都の高校470校にFAXで開催案内、大学情報センターの協力で高校生718人にメールマガジン送

付、さらには旺文社、Z会などの受験産業にも告知を依頼しました。そのうえで新聞各社にも告知を依頼するとともに地域面広告も掲載しました。

2月9日当日の東京は快晴。おしゃれな街路として若い女性にも人気の表参道に面した会場には開場と同時に参加者が詰めかけました。午後1時半、人間発達環境学研究所博士課程の院生で神戸ウェディングクイーンの花岡麻里名さんの司会でシンポジウムがスタート。福田秀樹学長が「神戸大学のことをもっと関東の方々に知っていただくため企画しました。昨年ノーベル生理学・医学賞を受賞した山中伸弥教授も神戸大学の卒業生です。今日の講演は学内で公募してたくさん応募の中から選びました。大変興味深い内容ですので楽しみにお聞きください」と挨拶しました。

講演のトップバッターは農学研究科、万年英之教授。「DNAでひも解く牛肉のおいしさの起源」と題して講演しました。DNAを読み解くことで私たちが食べている牛肉の品質だけでなく牛の品種や産地、由来まで突き止めることが可能なことを分かりやすく解説。そのうえで「農学は農業に関わるさまざまな問題を総合的に解決する応用的な学問です。農学のミリオクを感じていただければうれしい」と締めくくると大きな拍手がわきました。会場からは美味しい肉の見分け方など次々と質問がとびました。

次いで神戸の街と神戸大学生を紹介する動画「神戸の街からあなたへ～ Four Messages」が上映され、4人の卒業生から4人の学生に贈られたメッセージとともに瀬戸内海と六甲山にはさまれた神戸の街、神戸大学のキャンパスが紹介されました。



会場は、都内でも人気のエリアにある青山ダイヤモンドホール



農学研究科・万年英之教授の講演では、会場から次々と質問が



工学研究科・寺田努准教授による、最先端研究の講演

「神戸大学のミリョク」を初開催

休憩時間には神戸を代表する4社のスイーツが提供されました。4つのテーブルに山盛りになされた神戸風月堂のクッキー、ゼリー、本高砂屋のきんつばとマンデルチーゲル、ユーハイムのバウムクーヘン、モロゾフのプレミアムチョコレートに参加者は舌鼓を打っていました。この間、ホールとホワイエで神戸大学紹介の動画「神戸からの風」(2013年版)が流され、中高校生は各学部紹介に目をこらしていました。

シンポジウム講演の締めくくりは工学研究科、寺田努准教授の「ウェアラブルコンピューティングが世界を変える～ダンス・パフォーマンス・音楽・アート～」でした。コンピューターを着るって??? 装着型コンピューティング技術を生かして宇宙服や車の運転にまで新たな技術開発が期待されているのです。実際にイベント司会者への支援システムなどプロが使うシステムを、寺田先生を中心にした研究グループは次々と開発してきました。革新的な研究と内外から注目を浴びている最先端に会場は大いに沸きました。

参加者の一人、埼玉県の高校2年の女子生徒(17)は、「発達科学部に入って心理学を学びたいと思っています」と、動画に見入っていました。母親と一緒に訪れた東京都内の高校2年の女子生徒(17)は、「将来は企業で働きたいので経営学部にあこがれています。どのような勉強をすればいいですか」。高校1年の女子生徒は「文学部で日本文学を勉強して留学したい。留学プログラムにはどのようなものがありますか」と教員に熱心に質問していました。シンポジウムの後で催された交流会でも、中高校生が現役学生に勉強の仕方などを聞いていました。

参加者から寄せられたアンケートには女性から「万年教授の講演を参考に早速、スーパーに行って美味しい肉を見分けます」という声。高校生からは「神戸大学に行くぞというモチベーションが上がりました」「神大合格目指してがんばります!」と強い意気込みも。中には「受験生の息子に頼まれて参加しました」「高校生は土曜日は参加しづらい」との声もありました。

来年に向けて第2回シンポジウム実行委員会が発足しています。今回寄せられた貴重なご意見をもとにさらにパワーアップしたシンポジウムを開催すべく努力して参ります。

(神戸大学基金推進室、広報室)

シンポジウム告知ポスター

今回、シンポジウムの告知ポスターを学内から公募し、2作品を選定しました。



吉富英理さん(経営学部4回生)



島田賢二さん(海事科学部3回生)



ティー・ブレイクでは、神戸を代表するスイーツが登場

神戸を代表するスイーツ

神戸の雰囲気を感じてもらうため神戸スイーツを紹介しました



モロゾフのプレミアムチョコレート



ユーハイムのバウムクーヘン



神戸風月堂のクッキーなど



本高砂屋のマンデルチーゲルやきんつば



同窓会

学友会

育友会

山中伸弥教授の ノーベル生理学・医学賞受賞を祝って

◆神戸大学大学院整形外科 准教授 黒田良祐

▼平成20年 日本整形外科学会学術総会にて 山中教授と筆者

山中伸弥先生、ノーベル賞受賞誠におめでとうございます。神戸大学の先輩、私にとっては非常に身近な存在である山中先輩がノーベル賞を受賞するなんて夢のまた夢、こんな嬉しいことはありません。そこで山中先輩のノーベル生理学・医学賞受賞を記念しまして、この『KOBE university STYLE』に当時の思い出を綴らせていただきます。

1984年(昭和59年)4月、私は神戸大学に入学しました。高校まで6年間柔道部で汗を流していた私は、個人競技の難しさや辛さに嫌気がさしていました。当時、大学ラグビーが全盛の時代。早慶戦は国立競技場を超満員にし、しかもNHKで生中継、関西では同志社大学ラグビー部に平尾誠二さん(現神戸製鋼ラグビー部GM兼総監督)、大八木淳史さんなどそうそうたる選手が在学しており、3年連続大学日本一を達成、その後、神戸製鋼の黄金時代を築く。そんな時代に「女子にもてたい」、「カッコいいと言われたい」と今でいうならば「チャライ気持ち」で入ったのが神戸大学医学部ラグビー部でした。でも入部してみればいい先輩後輩に恵まれ、ラグビーというスポーツの魅力にどんどん引き込まれていきました。「One for all, all for one」や「follow up」の精神を学びました。その医学部ラグビー部の中に、後のノーベル賞学者、山中伸弥先生がおられました。

練習は神戸大学六甲台グラウンドでした。教養の頃は馬術部の香しい馬舎を抜けて、学生会館の階段、坂道を汗をかきながら上がって練習に通いました。山中先輩は愛車のフォード・レーザで颯爽と現れる。ちょっとガニ股なのは柔道部出身のせいか…、でも頭はいつも綺麗にカットされ乱れがなく、服装も小洒落ていました。当時からなんとなく服装にも独創的センスがあったような気がします。

当時のキャプテン松井隆氏によれば山中先

輩は「意外とスクラムは弱かった、ジャンパーも失格、華麗なステップも頭脳のなプレーも見たことはなかった。でもとにかく密集では強かった」という。おっしゃるとおり不器用ではありましたが、力強かった。とにかく肉体美が素晴らしかった。六甲台グラウンドでの練習はまさに青春そのものでした。北には弓道場があり、「あたりー」という心地良い声が六甲の山にこだまする。体育会のサッカー部やラグビー部が練習している。応援団が肉体と精神の限界に挑むような厳しい練習をし、その横でチアガールが刺激的に踊る。練習後の山中先輩はシャワーでさっぱり、バスタオルを腰に巻くだけで、惜しげもなくその肉体美をさらし、暫したずむ。チアガールに魅せたいのか、はたまた応援団に魅せたいのか…。「山中! 早よ服着ろや!」と先輩からヤジが飛ぶ。それでも肉体美はさらし続ける。一時期「ホモ」説が出たのもうなずける。でも実際は紳士でフェミニスト、浮気もしない彼女一途な方でした。

練習のあとは腹が減る。阪急六甲駅近辺なら、「みやま」でとんかつ、「扇矢」でうどん、「Sugar Hill」で定食(今も「massa」という名前になってらしい)、「灘スポ」(ラグビーグッズが豊富にそろそろスポーツショップ)でポイント(スパイクの底の金具)買って、「船越」で串カツか…。いろいろあった。いっぱいご馳走になりました。楽しかった。有難うございました。

練習のあとは腹が減る。阪急六甲駅近辺なら、「みやま」でとんかつ、「扇矢」でうどん、「Sugar Hill」で定食(今も「massa」という名前になってらしい)、「灘スポ」(ラグビーグッズが豊富にそろそろスポーツショップ)でポイント(スパイクの底の金具)買って、「船越」で串カツか…。いろいろあった。いっぱいご馳走になりました。楽しかった。有難うございました。

私が1年生で山中先輩が4年生の頃、先輩は医学部ラグビー部で主務という役職を担当され、怪我をして入院、手術となった私のことをとても親切に気遣ってくださった。よくお見舞いに来てくださった。当時から本当に優しい先輩で、そ



のすばらしいお人柄から、たくさんの研究者が先生のもとに集まり、今回の偉業につながったものと思います。

神戸大学医学部ラグビー部の部歌を紹介させていただきます。神戸大学医学部ラグビー部OBは集まれば必ず部歌を歌う。山中先輩ともよく一緒に歌いました。これは大先輩が作詞され、「ゲイシャ・ワルツ」という懐かしい曲のメロディーにのせて歌う。いまでも口ずさむと当時の辛くて、でも楽しかった練習や試合のことを思い出し、目頭が熱くなる。メロディーをご存じの方は是非歌ってください。

雨の降る日も 短パンはいて
泥にまみれて セービング
なるんじゃないか ラグビー部員
これが苦勞の 始めでしょうか

男前でも おもてを下げ
汗にまみれた この姿
なるんじゃないか ラグビー部員
これが苦勞の 始めでしょうか

つらい練習に 耐えて今日は
晴れの試合で トライする
なってよかったラグビー部員
これが苦勞の 終わりでしょうか

最後に、ユーミンの歌じゃないけど、「神戸大学よ、あなたは私の青春そのもの」です。そして、山中伸弥先輩、あなたと過ごした3年間は私達の一生の宝物です。



▲昭和58年8月 西日本医学生大会(浜松)
最後列の白いヘッド・キャップの男性が山中教授。
ポジションはロックを担当



▲昭和59年8月 西日本医学生大会(大阪)
モールドプレーする白いヘッド・キャップの山中教授

第7回ホームカミングデイを開催

神戸大学の第7回ホームカミングデイは2012年10月27日(土)、神戸大学の全キャンパスで開催されました。登録有形文化財の本館修理が終わった六甲台キャンパスや各学部には例年以上の卒業生が詰めかけ、東日本大震災被災地支援の東北物産展、特別展「神戸大学110年の歩み」など工夫を凝らした催しが人気を呼びました。

記念式典冒頭の挨拶で福田秀樹学長は、2012年度のノーベル生理学・医学賞が本学卒業生の山中伸弥京都大学教授に決まったことに触れ「山中教授に続いて本学から第二、第三のノーベル賞受賞者が出ることを祈っているし、その環境作りに力を尽くしたい」と力強く語りかけました。

この後、神戸大学同窓会のネットワーク構築事業にご尽力された卒業留学生2名の代理の方に学長特別表彰として「神戸大学功績賞」が授与されました。韓国産業界の重鎮、南相水(ナム・サンス)さんと、タイヤクルト会長のプラン・ヘータクンさんのお二人です。

続いて、川崎重工業取締役会長の大橋忠晴さん(工学部卒)が「神戸と私」と題して講演。また、アカデミア館2階や講堂前では東北物産展が開催され、今年は「岩手県セット」(前沢牛カレーなど6点)、「宮城県セット」(牛タンカレーなど6点)、「福島県セット」(会津地鶏カレーなど6点)の各県の名産セットや「3県食べ比べセット」が人気を集めました。



「ラオス神戸大学同窓会」が発足

「ラオス神戸大学同窓会」が、本学の11番目の海外同窓会として2012年9月23日に首都ヴィエンチャンで発足しました。神戸大学から中村千春国際交流担当理事・副学長をはじめ、

駿河輝和国際協力研究科長、三橋紫国際交流推進本部副本部長、留学生センター教員らが出席しました。今回の同窓会は、ラオス元日本留学生会(JAOL)の傘下に日本の大学として

はじめて組織化されたもので、在ラオス日本大使館をはじめ、日本ラオス友好協会、ラオス国立大学、現地の日本関係機関、卒業生が多数出席する中で活気に満ちた式典になりました。

発足会合では、同窓会会長に、Phanhpakit Onphanhdala氏(国際協力研究科2008年修了、ラオス国立大学講師)が選出され、会長は「同窓会が日本とラオスとの関係を有機

的に繋ぐ役割を果たし、両国の発展と神戸大学の発展に貢献していきたい」と力強く抱負を述べられました。

その後、中村千春国際交流担当理事・副学長の「Towards Global Excellence: Kobe University's Present Status and Future Prospects」と題する特別記念講演が行われ、本学とラオスとの人的交流の歴史に触れながら、ラオス教育省及び大学との協力関係についても言及しました。翌24日、中村千春国際交流担当理事・副学長、三橋紫国際交流推進本部副本部長、小川啓一国際協力研究科教授は、ラオス国立大学を訪問し、本学とラオスの人的交流のための協定を締結しました。



育友会の2012年度地区支部会が開かれました

育友会の地区支部会は、神戸大学との連携強化を図り、会員皆様のご要望を神戸大学運営に反映するなど、社会のニーズに対応した神戸大学づくりを目的とし、2005年度から「東日本」、「中部」及び「中国・四国・九州」の3地区で開催されています。

本年度で8回目となり、2012年9月2日(日)に地区支部会のトップをきって、東日本地区支部会が神戸大学東京六甲クラブ(東京都千代田区)において開催されました。東日本地区以外に、遠くは香川県からの会員を含めて18人が参加、続いて9月30日(日)には名古屋市内のホテルで中部地区支部会が開催されました。台風直撃の悪天候ながら、会

員36人の参加がありました。そして10月14日(日)、最後に中国・四国・九州地区支部会が広島市内のホテルにおいて開催、四国・九州からの参加者を含め会員59人の参加がありました。3地区ともに、神戸大学と育友会の連携が強化される契機となるなど、所期の目的を達成し終了しました。来年度以降も開催予定です。



神戸大学育友会への入会について～お願い～

本会は、保護者の皆様から納めていただいた会費により、課外活動などの課外教育や学生関係行事への援助や神戸大学の発展に寄与するための各種事業を行っています。まだご入会いただいていない場合は是非ともご入会いただきますよう、よろしくお願いたします。

会費納入等の詳細は、以下へご連絡願います。

神戸大学学務部
教育支援課学務グループ
TEL078-803-5213

保健管理センターだより

楽しい学生生活のために……

新学期を迎え、一人暮らしを始める方も多いことでしょう！

友達と一緒にパーティーを開いたり外食をする機会も増えるかもしれません。

そんな中、腹痛や吐き気、嘔吐、下痢を訴えて保健管理センターを利用される方も多くなってきます。

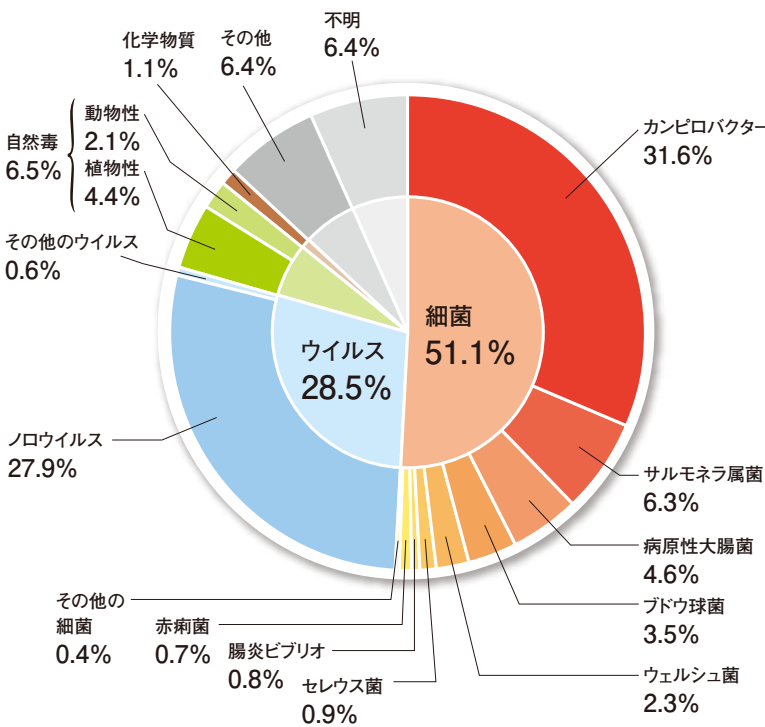
最も多い、病原性微生物による食中毒

食中毒には自然毒(フグ毒、貝毒、キノコ毒など)や種々の化学物質によるものもありますが、最も多いのは病原性微生物(細菌、ウイルス、原虫)によるもので、食中毒全体の約8割を占めています(下図)。この内、細菌による食中毒(細菌性食中毒)は気温の高い夏場に多く、ウイルスによる食中毒(ウイルス性食中毒)は主として

秋から冬にかけて流行します。食中毒の症状は腹痛、吐き気、嘔吐、下痢、発熱などで、病原性微生物の種類によって発症までの期間(潜伏期間)が異なります(下表)。乳幼児や老人では嘔吐物の誤嚥が肺炎や窒息につながることもあり、鶏肉や牛肉など肉の生食に多い腸管出血性大腸菌(O-157、O-111など)感染症のよ

うに腸管出血や多臓器障害を起こして生命に危険が及んだり、カンピロバクター感染症のようにギランバレー症候群を起こして四肢に力が入らなくなることもあります。腸管出血性大腸菌感染症の発生を防ぐために、飲食店での牛生レバー(肝臓)の提供が法律で禁止されたのも記憶に新しいところです。

全国で報告された食中毒事件の原因(平成23年)



代表的な細菌性食中毒とウイルス性食中毒の主な感染源と潜伏期間

細菌性食中毒には、体内に入って増殖した細菌が腸粘膜に侵入して発症するもの(感染侵入型)と、体内に入って増殖した細菌が産生する毒素によって発症するもの(感染毒素型)、食品中で細菌が増殖する時にできた毒素を摂取することによって発症するもの(毒素型)とがあります。

	主な感染源	潜伏期間
感染侵入型		
サルモネラ菌	食肉、鶏卵	5時間～3日
感染毒素型		
カンピロバクター ジェジェニ/コリ	食肉(特に鶏肉)	2日～7日
病原性大腸菌	食肉	3日～5日
ウェルシュ菌	食肉	6時間～18時間
腸炎ピブリオ	海水、魚介類	2時間～24時間
毒素型		
黄色ブドウ球菌	手指の化膿巣	1時間～5時間
ボツリヌス菌	土壌、魚介類	8時間～36時間
ノロウイルス	二枚貝	1日～2日

寒い季節はウイルス性食中毒にご用心!

寒い季節になるとウイルス性食中毒が増え、その98%はノロウイルスによるものとされています。ノロウイルスは牡蠣(かき)などの二枚貝の消化管に存在し、加熱が不十分な状態で食べると発症します。ただ実際には、こうした貝を食べることによって感染することよりも、患者の嘔吐物や糞便の中に排出されたウイルスを吸い込んだり、ウ

イルスで汚染された食材や手から感染することの方が多くと言われています。ノロウイルスは感染力が極めて強い上、感染した人の糞便からは、症状が軽快した後も1ヵ月程度、ウイルスが排出され続けているからです。ノロウイルスによる感染を広めないためには、嘔吐物や便器・ドアノブ・手すりなどの汚染されやすい箇所の適切な処理が

必要です。ノロウイルスにはアルコールは無効で、「ハイター®」、「ブリーチ®」などの次亜塩素酸ナトリウムが入った漂白剤を薄めて使用します。嘔吐物や便器の消毒には50倍希釈液(約1000 ppm)、ドアノブ・手すりの消毒には250倍希釈液(約200ppm)をういます。ただ、手など人体に使用してはいけません。

「食中毒」について知っておく!



「つけない」・「増やさない」・「やっつける」

食中毒予防の三原則は「つけない」・「増やさない」・「やっつける」です。細菌やウイルスといった病原性微生物を食品に「つけない」ようにするには手洗いが肝心です。トイレの後や調理の前はもちろん、生の肉や魚、卵を触った時にも手を洗いましょう。まな板や包丁、トング、調理箸などは、感染源になりやすい肉や魚を扱うものと、野菜や果物を扱うものとで別々にした方が安全です。私たちの手許に届くまでに食材が汚染されていることもあり、調理器具を介して食材から食材へ病原性微生物が移らないようにする工夫が必要なのです。

「増やさない」ためには低温での保存が役に立ちます。特に夏場の細菌性食中毒を防止す

るには食材を保冷して持ち帰り、速やかに冷蔵庫に入れることが肝心です。ただ、冷蔵庫内の温度で細菌の増殖が完全に止まるわけではなく、冷蔵庫を過信することは禁物です。また、冷凍保存した場合でも、室温で解凍すると細菌が繁殖するため、解凍は冷蔵庫内でするか、電子レンジでする方が良いでしょう。

「やっつける」ための手段としては加熱することが一番です。ただ、食品の中心部が75℃で1分間以上になるように加熱しなければなりません。表面が焦げていても、中の温度が上昇していなければ、だめなのです。ノロウイルスでは85℃で1分間以上の加熱が必要とされています。また、カレーやシチューでの食中毒の原因と

なりやすいウェルシュ菌のように、高温でも「芽胞(がほう)」という状態で生き残り、温度が下がってくると爆発的に増える細菌もあります。黄色ブドウ球菌やボツリヌス菌による食中毒のように、食品中に生きた細菌が残っていても、産生された毒素によって発生するものもありますから、加熱を過信することなく、「つけない」・「増やさない」・「やっつける」の三つを心がけ、調理したものはできるだけ早く食べることが大切なのです。

海外ではさらなる注意も!

海外渡航時には、さらなる注意が必要です。日本ではインフラが整備され、水道水をそのまま飲むことができますが、それは、全ての国や地域に当てはまることではありません。水が

汚染されていると、食材を洗うという行為も逆効果になりかねません。食物についても同様です。それぞれの国や地域の環境や状況に合わせた対策が必要です。留学や海外派遣など

の長期滞在時だけでなく、旅行での短期渡航時にも十分に情報収集し、気を付けてお出かけください。

参考

1. 寺嶋 淳:肉の生食と消化管感染症, 日本内科学会雑誌:101, 3154-3161, 2012
2. 中田裕久, 馬場久光:夏です…細菌性食中毒の季節です! 六甲ひろば 71:11, 2003
3. 木原 彊:細菌性食中毒, 内科学, 88-90, 朝倉書店, 東京, 1991
4. 厚生労働省:食中毒事件一覧速報(平成23年), 2011 <http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/04.html>
5. 東京都福祉保健局:たべもの安全情報館 http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/shokuhin/anzenjoho_index.html
6. 政府公報オンライン:ご注意ください!お肉の生食・加熱不足による食中毒 <http://www.gov-online.go.jp/useful/article/201005/4.html>
7. 政府公報オンライン:食中毒予防の3原則 http://www.gov-online.go.jp/featured/201106_02/contents/gensoku.html

保健管理センターは…

六甲台キャンパス(本部管理棟2階)と深江キャンパス、楠キャンパスにあり、毎年の健康診断やその結果に基づく再検査・精密検査をはじめ、日常の救急処置、健康相談(「からだの健康相談」、「こころの健康相談」)、保健指導、栄養指導、健康教育、産業医活動、調査研究活動などを通じて、学生や職員の皆さんの健康をサポートしています。

また、名谷キャンパスには「からだの健康相談」のための保健管理室と「こころの健康相談」室が設置されています。

「からだの健康相談」や「こころの健康相談」をご利用の際は、待ち時間の緩和と十分な相談時間の確保のため、予約を取られることをお勧めします。

●お問い合わせ

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1

[神戸大学保健管理センター] ☎078-803-5245

〒658-0022 神戸市東灘区深江南町5-1-1

[神戸大学保健管理センター深江分室] ☎078-431-6232

〒650-0017 神戸市中央区楠町 7-5-1

[神戸大学保健管理センター楠分室] ☎078-382-5006

〒654-0142 神戸市須磨区友が丘7-10-2 神戸大学医学部保健学科内

[神戸大学名谷地区保健管理室] ☎078-796-4537

●保健管理センターだより 82

(神戸大学広報誌「六甲ひろば」から引き続き連載)

保健管理センターの詳細につきましては、保健管理センターホームページでも案内しています。 <http://www.health.kobe-u.ac.jp>

神戸大学百年記念館

百年記念館の魅力

神戸大学百年記念館は、本学の代表的な建築物の一つである。六甲台地区の南端に位置し、眼下に国際貿易都市・神戸の市街地と港が広がる眺望の素晴らしさは格別である。基本設計は工学部建設学科狩野忠正教授(当時)が担当し、2000(平成12)年に竣工。鉄筋3階建てで、当初の建築面積は2,541平方メートル、建物延面積は3,983平方メートルである。神大会館と留学生センターから成り、神大会館には六甲ホール、大学文書史料室(当初は百年史編集室)、誓子・波津女俳句俳諧文庫、展示ホールが入る。六甲ホールでは多様なイベントや学会などが開催されており、展示ホールでは、本学百有余年の足跡をたどる神戸大学史の展示と日本を代表する俳人山口誓子の展示が開催され、貴重な資料が広く一般に公開されている。また留学生センターでは、外国人留学生および海外留学希望の日本人学生向けに修学・生活支援などが行われている。館内では多彩な留学生たちが活発に集い、国際シンポジウムの会場となるなど海外との学術交流も盛んであり、神戸大学における国際交流の一拠点となっている。

建物完成までの経緯

百年記念館誕生の発端は、1988(昭和63)年開学記念事業検討委員会第二次答申による「国際交流会館の建設」案まで遡ることができる。当初は神戸大学開学五十周年記念事業として計画されたが、1990(平成2)年に創立九十周年記念事業に変更され、名称も「神大会館(仮称)の建設」計画に変更された。しかし、募金額が目標に達成しなかったため計画は一時棚上げとなった。その後、1995(平成7)年度概算要求による「神戸大学留学生センター・国際交流会館用地」購入費が国から認められ、理学部南側に隣接する出光興産株式会社所有地7,732平方メートルを国費で購入することが可能となったため、この用地に留学生センターと「国際交流会館(仮称)」を建設するという計画が持ち上がった。留学生センターは国費により、国際交流会館は創立九十周年記念事業委任経理金(寄附金)により建設することとなり、1996(平成8)年3月に用地を買収、1998(平成10)年

12月に留学生センター新営予算が承認されたことで建設計画は一気に実現に向かう。片岡邦夫副学長(当時)を委員長に検討委員会が開催され、12月21日の検討委員会では、基本設計担当の狩野教授から建物の計画コンセプト「Bird's Eye」が発表されるとともに、国際交流会館を「神大会館」に名称変更することが決定された。2年後の2000(平成12)年に竣工、同年12月4日開催の検討委員会では、神大会館国際会議場の名称を「六甲ホール(英文名: Rokko Hall)」とし、神大会館・留学生センター建物全体の名称を「神戸大学百年記念館」とすることが決定され、翌年1月27日竣工記念式典が挙行された。西塚泰美学長(当時)は「国際都市・神戸にふさわしい大学として、これらの施設を活用し、学術の国際交流を活性化させたい」と式辞を述べ、国際交流拠点としての百年記念館の誕生を祝った。

神戸景観・ポイント賞の受賞

狩野教授の説明によれば、百年記念館の形は、鳥が「今にも飛び立とうとしている」一瞬の姿であり、「渡り鳥は国から国へと往来する言わば鳥たちの国際交流」ゆえに国際交流拠点としての建築目的に添ったものだという。

2001(平成13)年11月30日、「第16回神戸景観・ポイント賞」を受賞した。この賞は、神戸らしい都市景観の形成に寄与した建築行為を表彰するものであり、「2階に幅21メートルの大階段をもつプラットホームを設け、神戸の市街地を見下ろす視点場を創出している。また、六甲の山並みとの調和に配慮したものである」という点が評価され受賞となった。さわやかな風が通う雄大かつ洗練された景観と国際性豊かな神戸大学の魅力をぜひ堪能してほしい。

(神戸大学附属図書館大学文書史料室長補佐 野邑理栄子)



広報誌をリニューアルします

「KOBE university STYLE19号」をお届けします。本誌は2004年に国立大学が法人化されたのに伴って、教職員対象の広報誌「六甲ひろば」と在学生・保護者対象の広報誌「ROKKO WINDS」を統合してスタートしました。神戸大学の教育、施設、課外活動、同窓会活動の広報が目的で、学内広報に比重がかかっていました。それから9年を経る間に国立大学法人を取り巻く環境も変わってきました。国から多くの補助金を受けて運営しているだけに、国家財政が厳しくなる中で、国立大学法人の成果が厳しく問われることになってきました。

神戸大学は「神戸大学ビジョン2015」の中で、世界トップクラスの研究機関・教育機関を目指し卓越した大学経営を目指すとしています。そのためには学外広報が肝要となります。「国際性」「統合性」をキーワードにして神戸大学のキラリ光る活動を発信していく、そのような広報誌が必要です。

このため広報誌「STYLE」をリニューアルいたします。タイトル、内容、配布先などを練り直して作る新広報誌は、神戸大学が日本に、世界に研究・教育活動を発信するための戦略ツールと位置づけます。夏に登場する新広報誌にご期待ください。

(広報室)



神戸大学広報室 発行 2013年4月1日
〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1
TEL078-803-5083 FAX078-803-5088 <http://www.kobe-u.ac.jp>
E-mail: ppr-kouhousitsu@office.kobe-u.ac.jp